

みらかホールディングス株式会社

2016年度（2017年3月期） 決算説明会資料

2017年 5月 11日

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おさください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。

※ 本資料では、記載している部分を除いて、日本基準（J-GAAP）に基づく数値にて開示しております。

※ 本資料では、数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

※ 各事業名については以下のとおり省略する場合があります：

CLT：受託臨床検査事業 IVD：臨床検査薬事業 HR：ヘルスケア関連事業

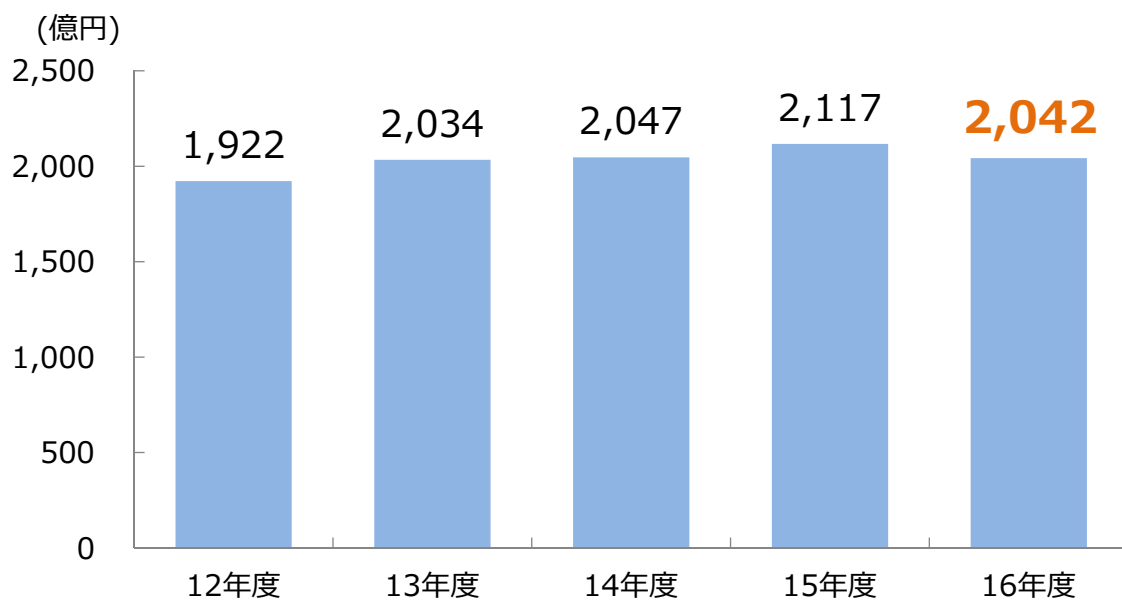
※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2015年度（実績）	1USD = 120.15 JPY	1EURO = 132.58 JPY
2016年度（実績）	1USD = 108.40 JPY	1EURO = 118.83 JPY
2017年度計画・中期計画	1USD = 110.00 JPY	1EURO = 120.00 JPY

2016年度 業績概要

2

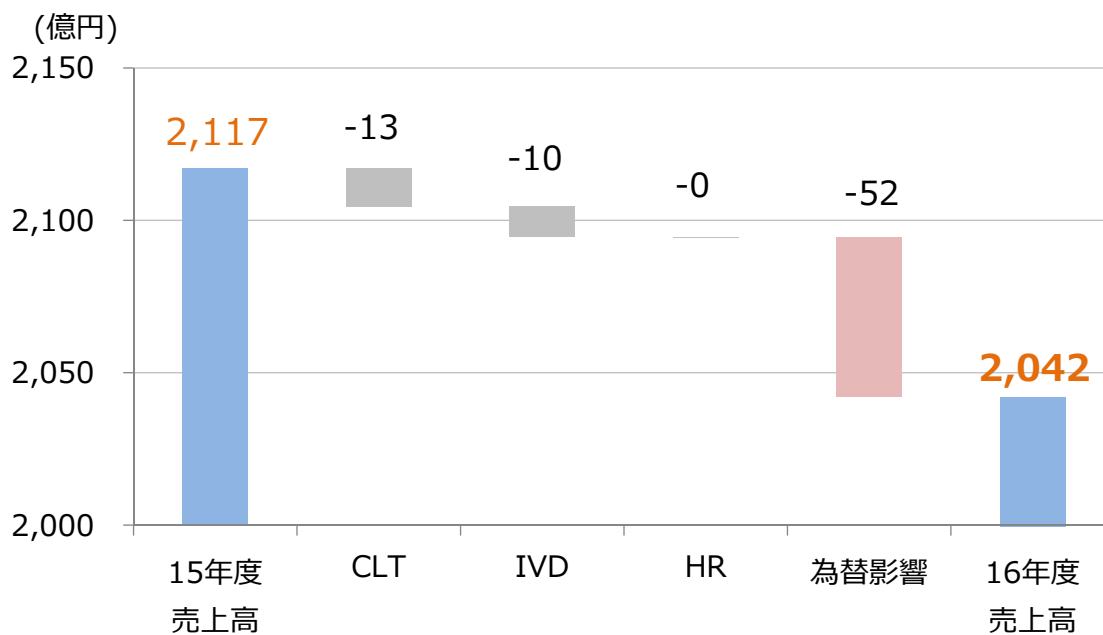
連結売上高 推移



3

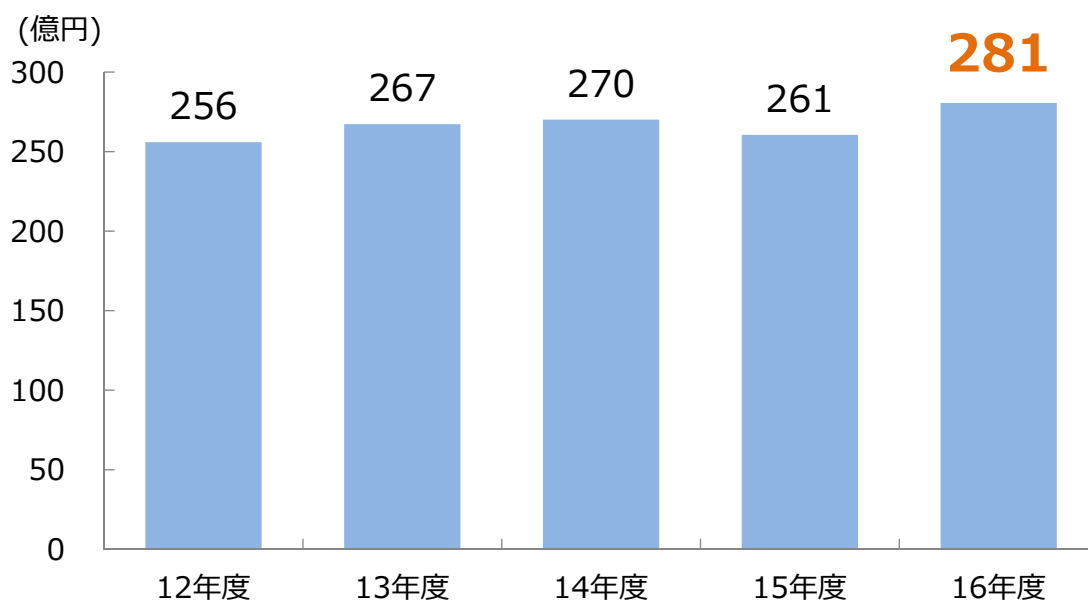
連結売上高 対前年比較

為替影響を除くと約23億円の減収



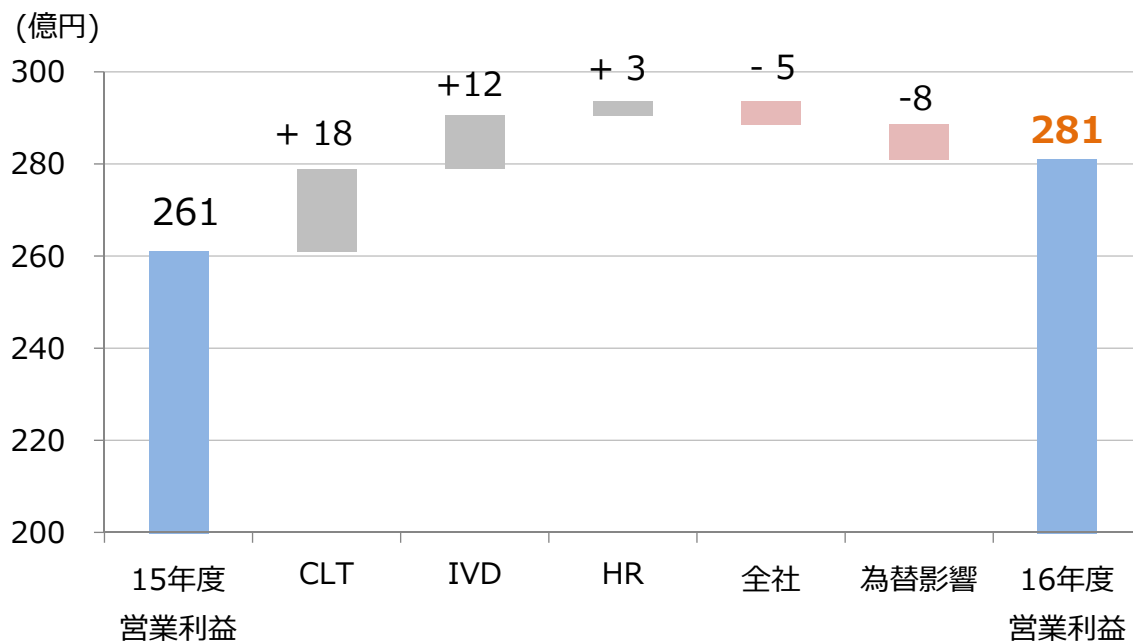
連結営業利益 推移

営業利益は過去最高益を達成

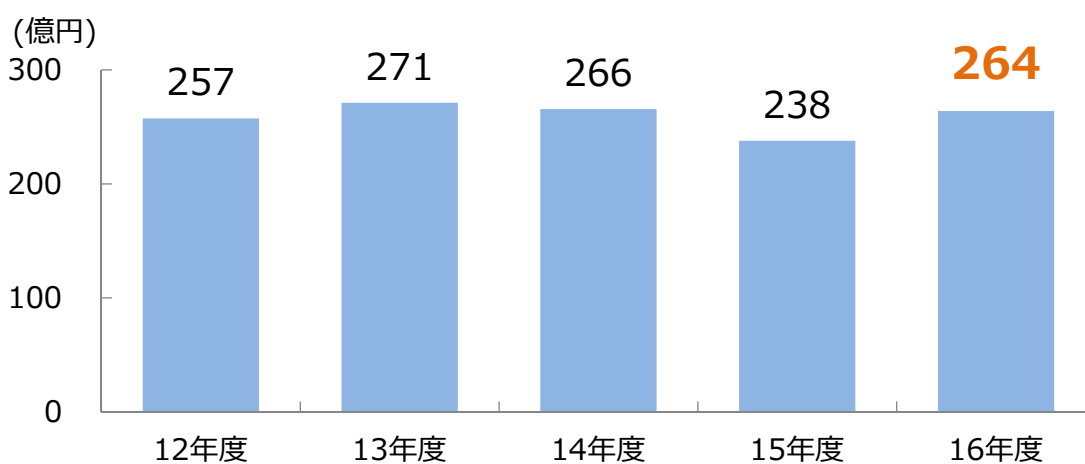


連結営業利益 対前年比較

為替影響を除くと約28億円の増益



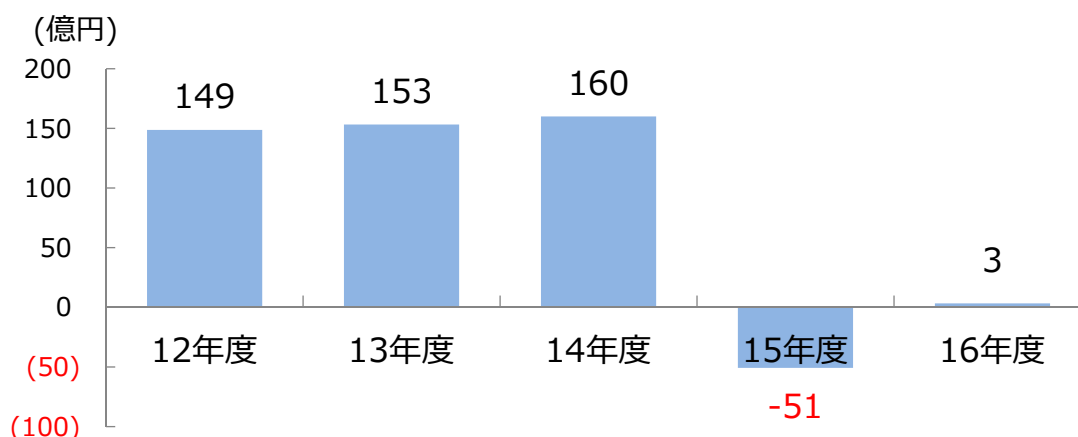
連結経常利益 推移



主な営業外損失

【2015年度】	【2016年度】
● 持分法による投資損失 -14億円	● 持分法による投資損失 -13億円
● 為替差損 -6億円	● 為替差損 -2億円

2期連続で特損計上するも当期純利益は黒字化



主な特別損失

【2015年度】	【2016年度】
● MLSのれん減損 - 221億円	● プロジェクト整理損失 -146億円
	● MLSのれん減損 -33億円
	● MLS関連損失 -27億円

8

2016年度実績 (連結)

		15年度実績		16年度実績		対前年同期増減	
売上高		2,117		2,042		- 75	-3.5%
	CLT	1,373		1,329		- 44	-3.2%
	IVD	458		427		- 31	-6.7%
	HR	286		286		- 0	-0.1%
営業利益		※1 261	12.3% ※3	※1 281	13.7%	+ 20	7.7%
	CLT	120	8.7%	136	10.3%	+ 17	13.9%
	IVD	110	24.0%	115	27.0%	+ 5	4.8%
	HR	27	9.6%	31	10.7%	+ 3	11.7%
経常利益		238	11.2%	264	12.9%	+ 26	10.9%
親会社株主に帰属する当期純利益		-51	-2.4%	3	0.2%	+ 54	-
EBITDA ※2		410	19.4%	412	20.2%	+ 1	0.3%

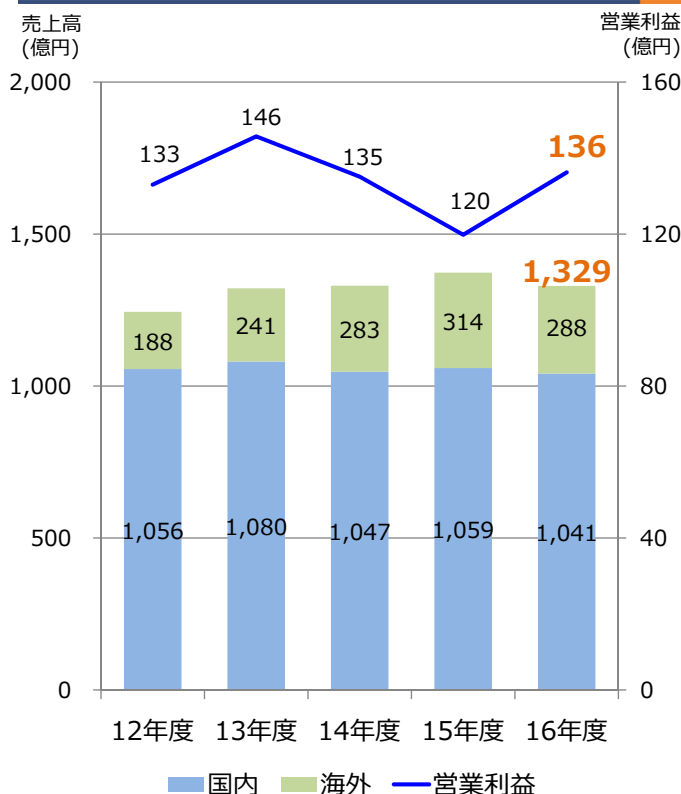
※1 全社(みらか単体)の営業利益を含みます(15年度：+3億、16年度：-2億円)

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※3 各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率を示しています

9

CLT事業



減収(-44億円)、増益(+17億円)

◆ 国内CLT事業

減収(-18億円)、利益前年並

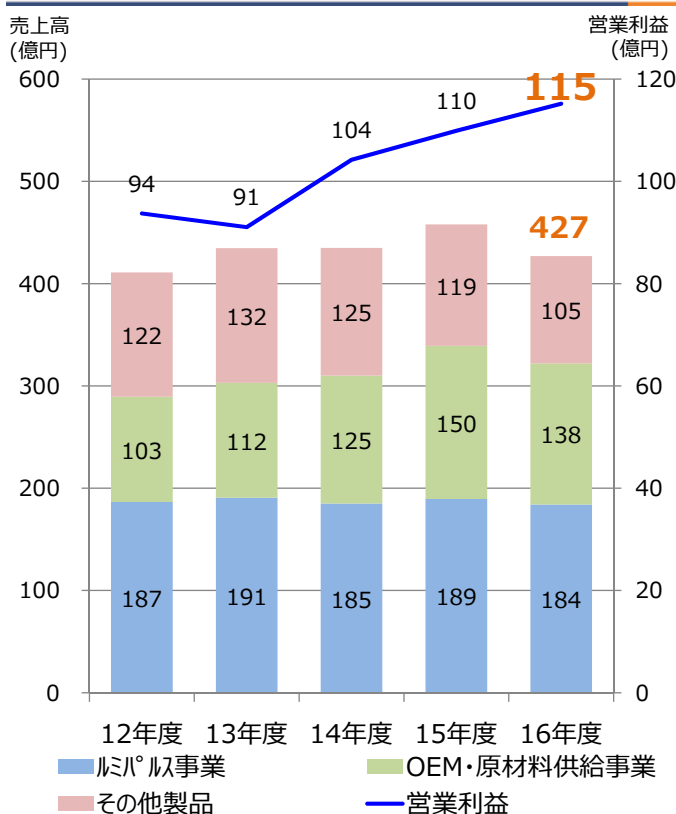
- 業務量減による減収
- 原材料費等の削減
- ナビラボPJ中止するも減価償却費は対前年比で微増

◆ 海外CLT事業

減収(-26億円)、増益(+16億円)

- 現地通貨ベースは増収(+5\$M)・増益(+7\$M)
- 為替影響による減収(-31億円)
- のれん償却費の減少(+10億円)

IVD事業



減収(-31億円)、増益(+5億円)

売上

為替影響による減収 -21億円

◆ ルミパルス事業

- 国内は横這い
- 海外は前年度の機器売上の反動減

◆ OEM・原材料供給事業

- 現地通貨ベースの売上は堅調に推移

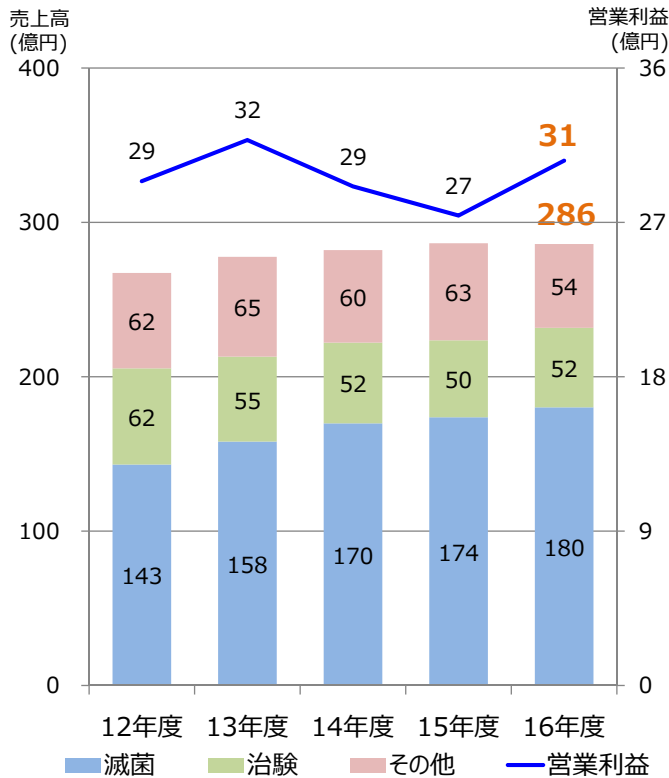
◆ その他製品

- 戦略的終売に伴う売上減

営業利益

◆ プロダクトミックスの影響

◆ 販管費の減少



売上は前年並み、増益 (+3億円)

◆ 滅菌事業

増収(+7億円)、増益(+1億円)

- 新規顧客獲得により増収増益

◆ 治験事業

増収(+2億円)、増益(+3億円)

- 受注から売上発現までの期間短縮及び事業構造改革効果により増収増益

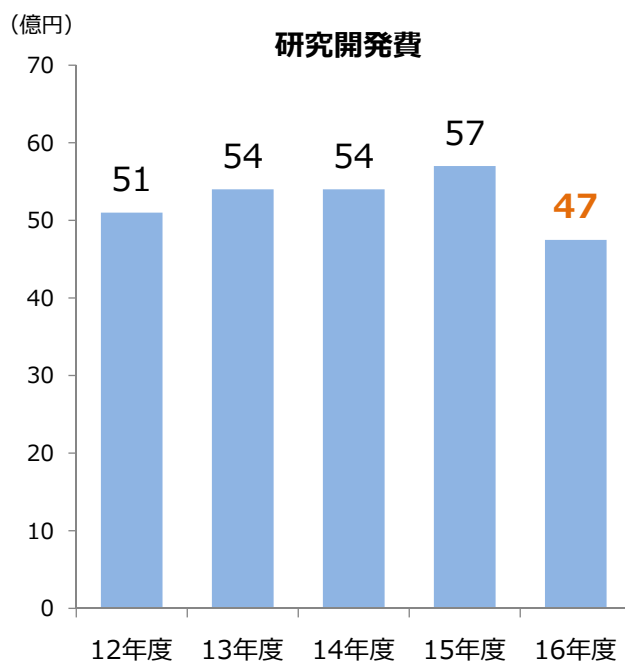
◆ その他事業

減収(-9億円)、利益前年並

- 感染防止商品の終売及び前年度の一過性売上により減収

※ 2016年3Qより「その他事業」セグメントの医薬香粧品分析を「CLT事業」セグメントへ移行したことに伴い、過年度実績も同様に調整済み

研究開発費の推移



- ルミパルスの開発機能を日本に集約
- R&D戦略の見直しに伴い、進捗が遅延

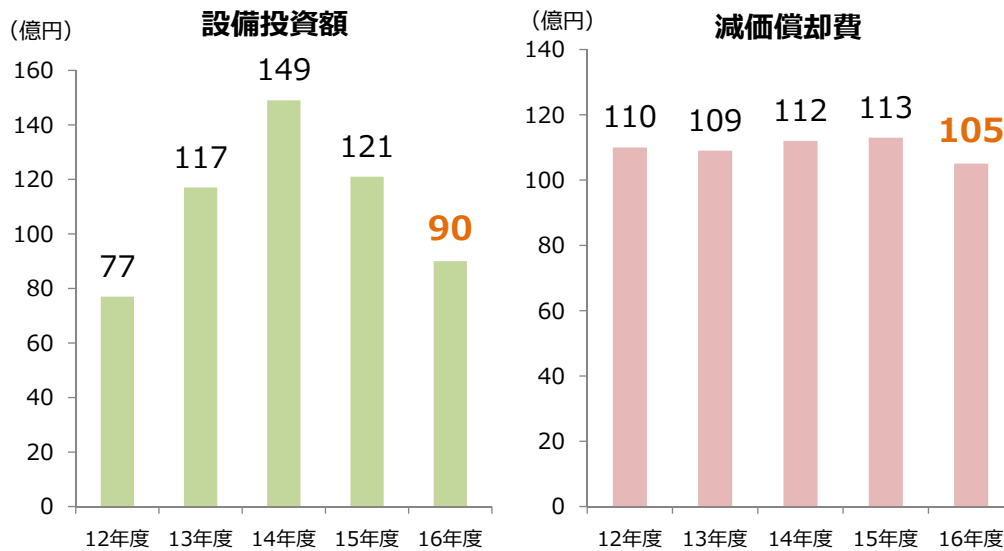
設備投資額・減価償却費の推移

【設備投資額】

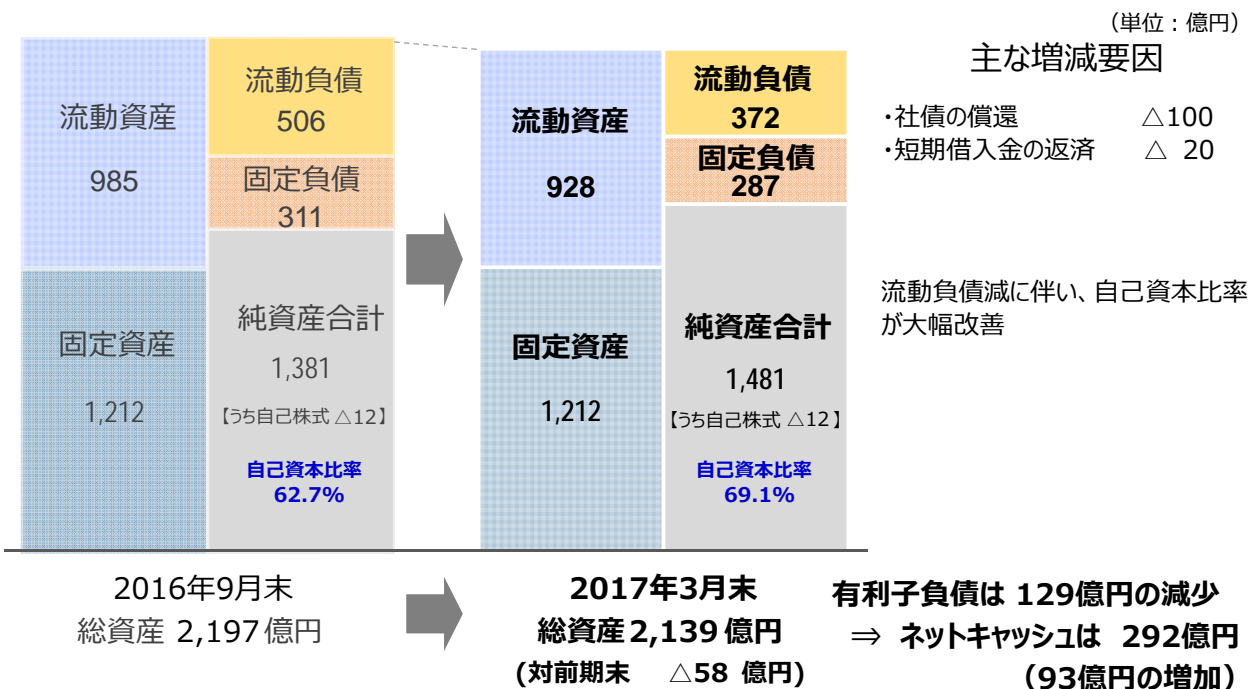
- ナビラボ開発の中止に伴い、設備投資額は減少

【減価償却費】

- ナビラボPJ中止するも、ナビラボ関連の減価償却費は対前年で微増
- 一方、ナビラボ以外の投資抑制に伴い、全体では減価償却費が減少



貸借対照表



【期末為替レート】 2016.9末：1USD = 101.12 JPY、2017.3末：1USD = 112.20 JPY

(単位：億円)

	15年度	16年度
税引前当期純利益	36	44
減価償却費	113	105
減損損失	230	33
プロジェクト整理損失	-	146
法人税等の支払額	-98	-22
その他営業CF	13	57
営業CF	293	364
固定資産の取得	-123	-82
その他投資CF	3	-4
投資CF	-120	-86
FCF	174	278
財務活動CF	-121	-231
現金同等物換算差額	-8	-9
増減	45	38
現金同等物 残高	317	355

主な増減要因

営業CF：前年同期より71億円の増加

- ・法人税支払額の減少

投資CF：前年同期より34億円の減少

⇒ **FCFは105億円の増加**

財務CF：前年同期より110億円の減少

- ・社債の償還

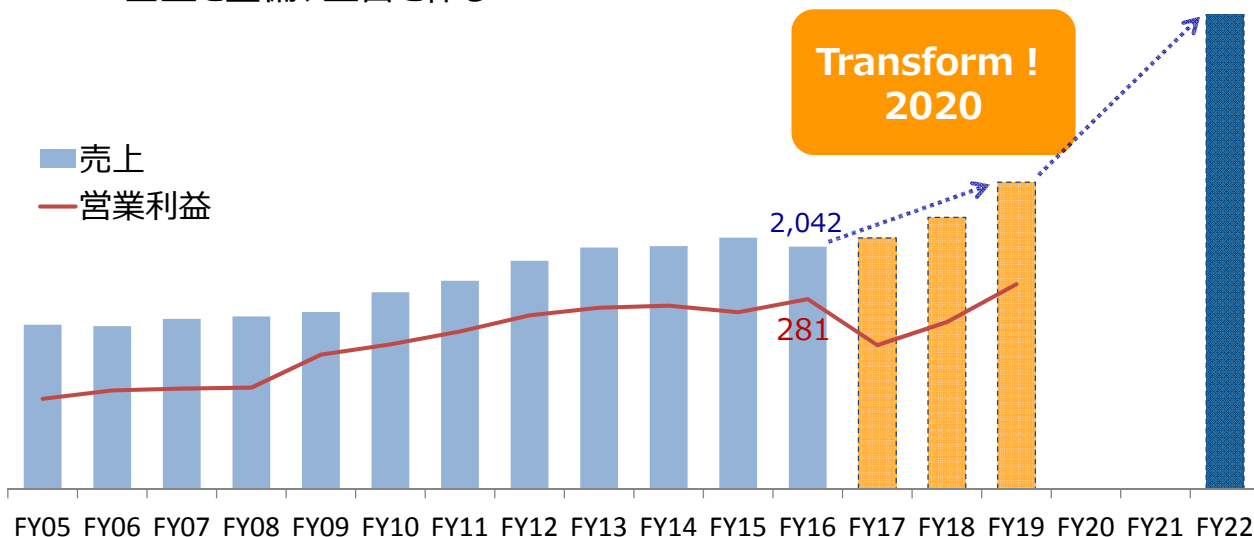
⇒ **現金同等物は、15年度末より38億円の増加**

16

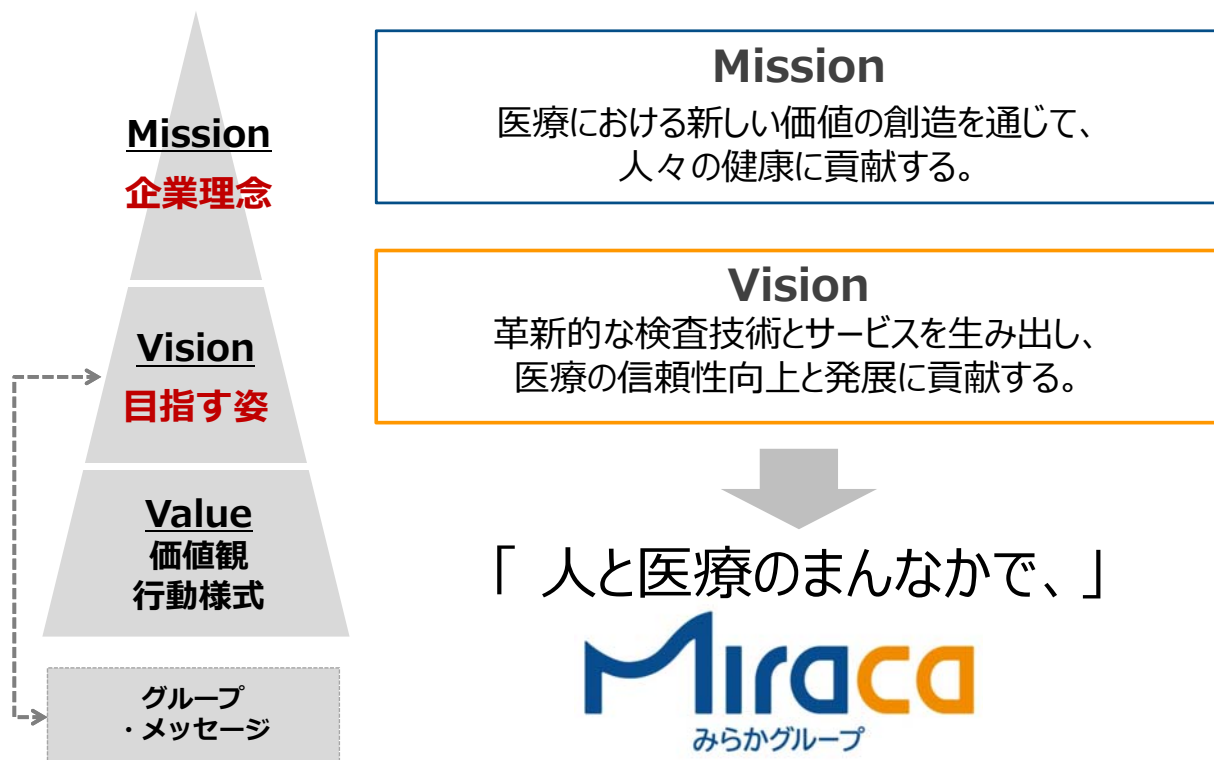
第2の創業

- ◆ 企業理念の見直し、グループ・メッセージの制定・発信
- ◆ 2020年以降の飛躍的かつ持続的な成長のための基盤を整備、土台を作る

飛躍的・
持続的な
成長へ



「みらかグループ」の新たな理念体系



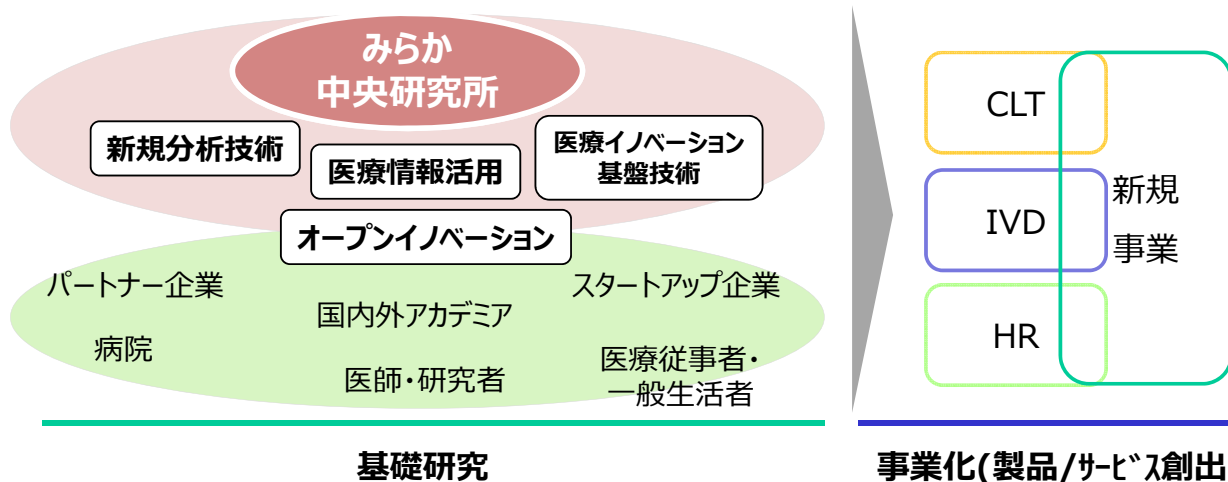


※ セグメント別の中期計画説明スライドの中で説明

R&Dの強化

みらか中央研究所を設立(2017.7予定)

- 事業会社の基礎研究機能を集約・強化
- 自社研究の強化
- グループ企業(BMGL等)・外部機関との協業強化
- 生み出されたシーズを事業化、グループの中長期的成長ドライバとする



みらかグループ一体化を推進、成長基盤を整備

組織と 業務の 変革

共通機能（間接部門）
の集約

- グループ内重複排除によるコストダウン
- グループ購買によるスケールメリットの実現
- IT機能集約による開発体制の強化/効率化

制度・カルチャーの統一

- 人事制度、諸規程の統一
- 新企業理念体系の制定・浸透

ブランド発信

- 広報・メディア対応強化

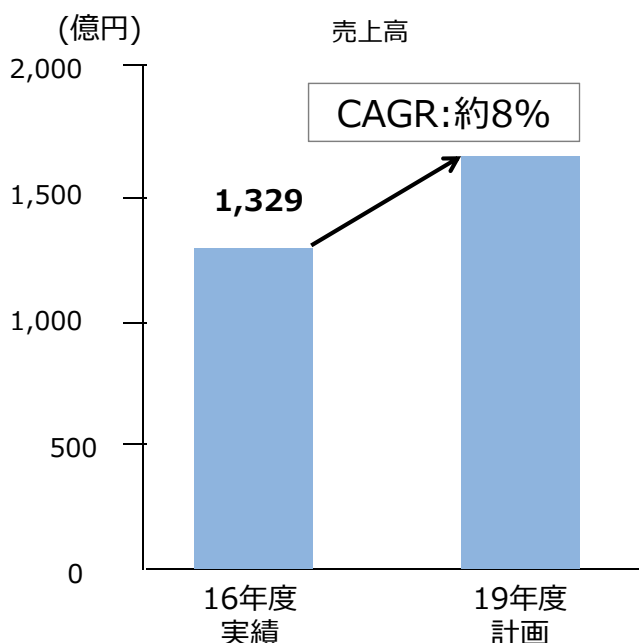
インフラ 整備

IT基盤整備

- 経営情報共有の円滑化
- 情報プラットフォームの共通化

人材の確保

- 管理職、次世代幹部育成
- 採用強化

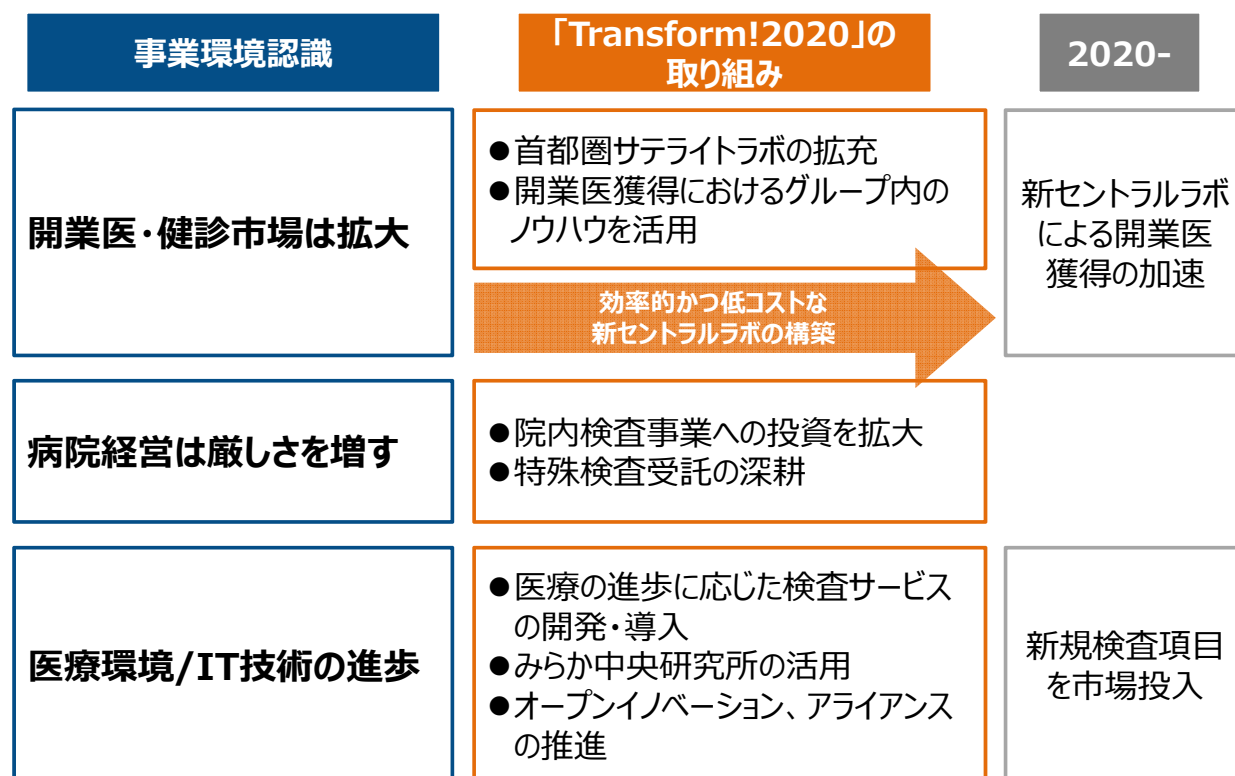


国内CLT事業

- ◆ 院内検査事業の強化
- ◆ 特殊検査の深耕
- ◆ 開業医・健診市場の獲得

※海外CLT事業 (MLS) に関しては今後戦略的オプションを検討していく

CLTの事業環境認識と取り組み



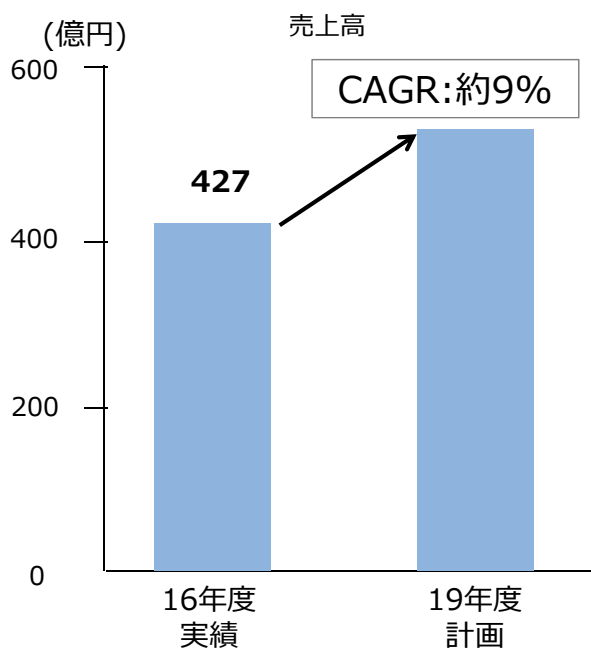
院内検査事業への積極投資

- ◆ 価格競争力の向上
 - みらかIVD製品を核とした標準化パッケージ提案
- グループシナジーを活用することでコスト競争力を高める
- ◆ 院外検査の受託
 - 院内検査受託を契機に病院取引を深耕

開業医・健診市場の獲得

- ◆ 首都圏サテライトラボの設置
 - TAT短縮などサービスレベル向上
 - ◆ グループ内のノウハウを共有
 - 開業医獲得に強みをもつグループ会社のノウハウ・ツールを共有
 - ◆ 健診市場の獲得
 - 企業健保との連携等
- ※ 新セントラルラボ稼働後は開業医の獲得を加速（次期中計）

IVD事業の成長

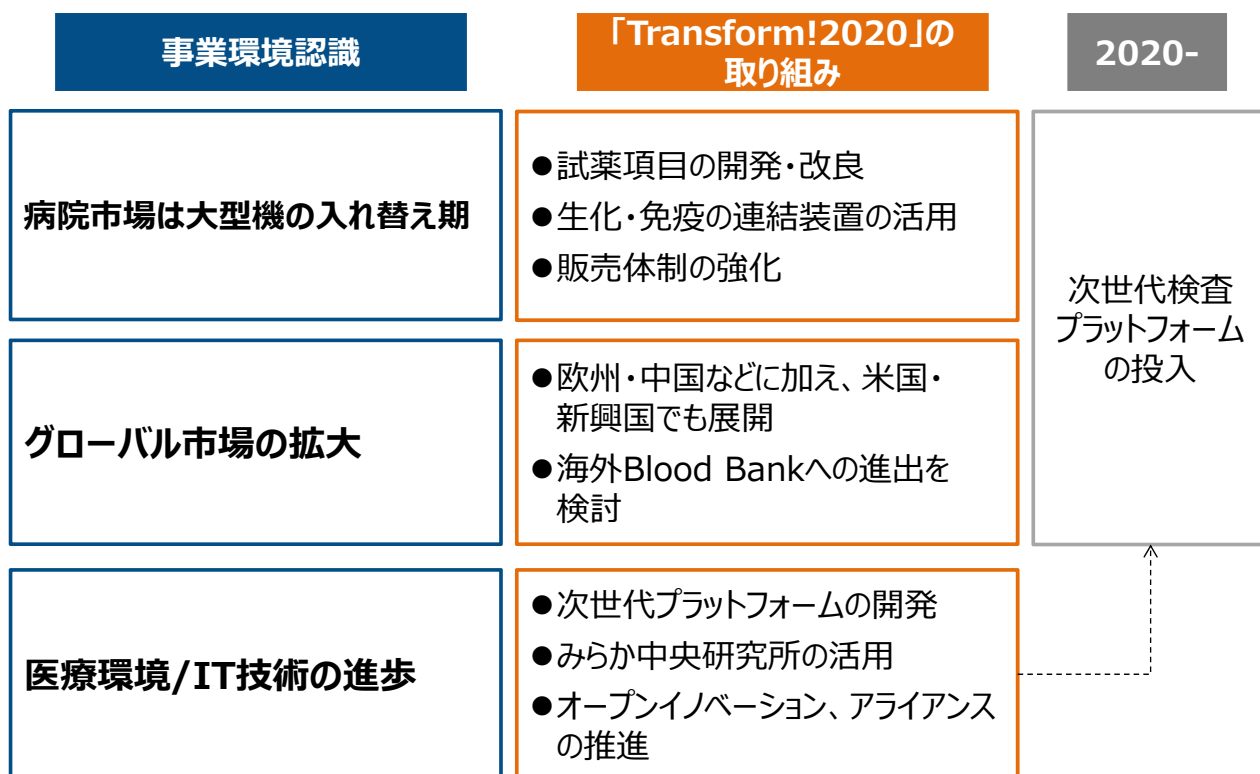


ルミパルス事業

- ◆ 国内
 - 販売体制の強化
 - 商品力の向上
- ◆ 海外
 - 新興国への展開

OEM・原材料供給事業

- ◆ グローバル市場の拡大にあわせ、安定的に成長



ルミパルス事業の取り組み

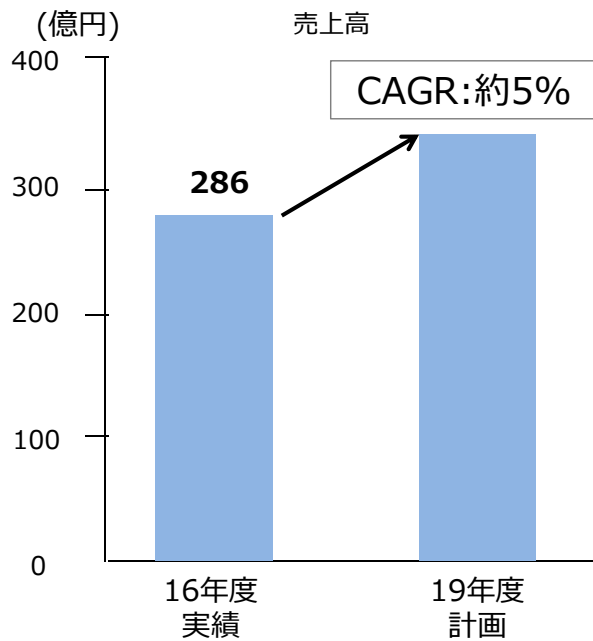
国内ルミパルス事業を再び成長軌道へ

- ◆ 機器設置の促進
 - 中期的な収益性を重視
 - 販売員及び販売拠点の拡充
- ◆ 新規項目開発の加速
 - 薬事申請も含めR&Dを充実
- ◆ L2400の競争力向上に向けた改良



海外ルミパルス事業は地域を拡大

- ◆ 上市済み地域の成長
 - アライアンスの活用による販売チャネルの再構築
 - 市場ニーズに合致した項目開発
- ◆ 新興国への参入
 - 薬事承認のハードルが比較的安く、早期参入可能な地域へ拡大
 - 市場の伸びを取り込み、高い成長を目指す
- ◆ 海外Blood Bankへの進出を検討
 - アジアを中心に市場参入を検討



◆ 滅菌事業

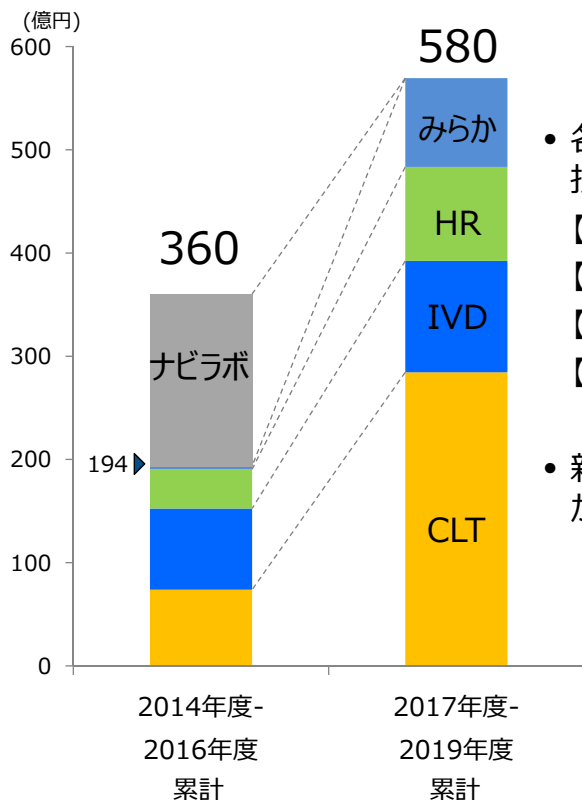
- 持続的な成長のため、事業構造を再構築
- 院内滅菌業務の自動化・効率化及び院外センター化推進

◆ 治験事業

- 治験検査中心の事業構造を転換し、臨床研究のサポートビジネスを今後の成長ドライバーとする

中期経営計画 (2017.4-2020.3)
「Transform! 2020」数値計画

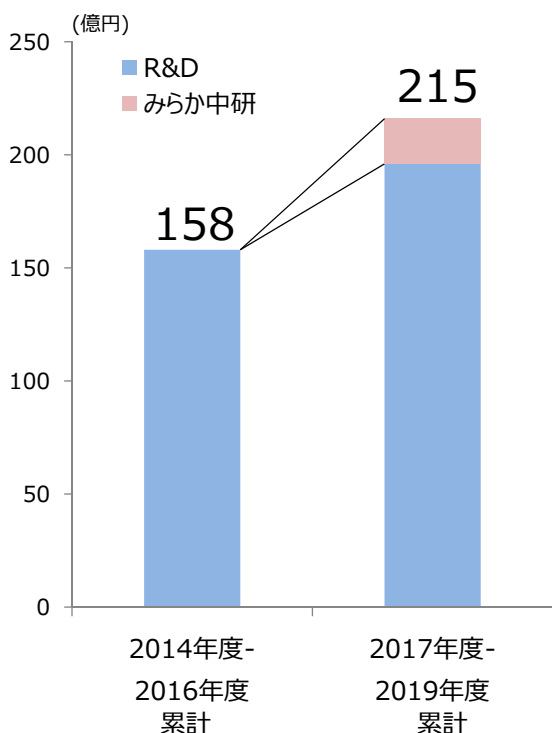
積極的な設備投資の実行



- 各セグメントとも既存事業成長のための積極的な投資
 - 【みらか】 事業基盤強化 (IT投資等)
 - 【CLT】 院内検査事業への積極投資
 - 【IVD】 ルミパルス機器設置の加速
 - 【HR】 事業構造転換のため院外センター増設
- 新セントラルラボ設立に係る投資は明確な見通しが立った段階で別途開示 (必要に応じて中期計画の修正を行う)

R&Dの強化

「基礎研究」と「製品開発」の双方で積極的な活動に取り組む

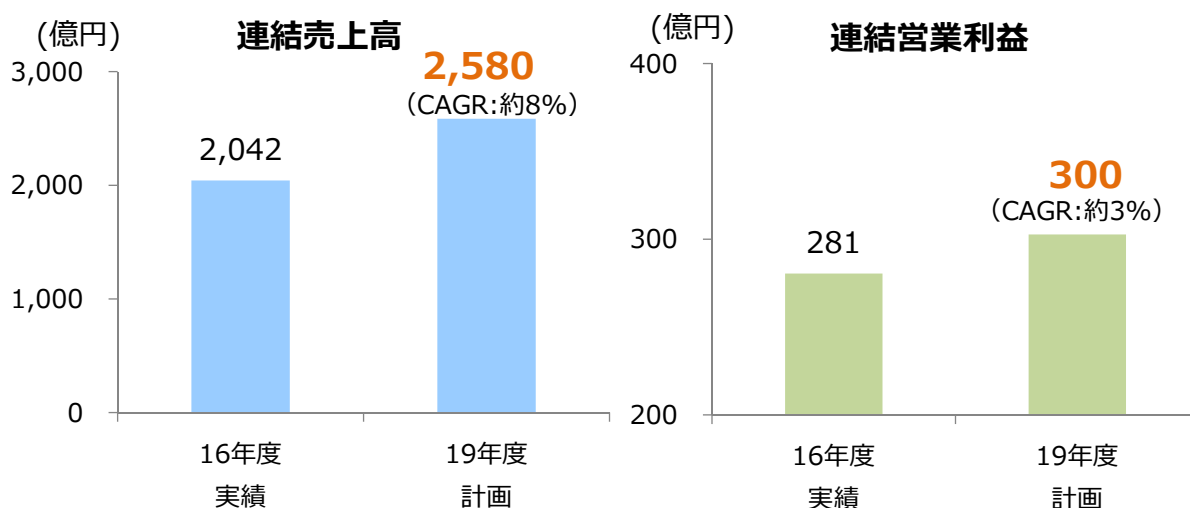


基礎研究

- みらか中央研究所を設立、基礎研究を集約
- 次世代製品・サービスの創出

製品開発

- ルミパルス製品の試薬項目開発・改良
- 海外展開に必要な薬事申請
- 次世代プラットフォーム開発



経営指標(2019年度)			
売上高	: 2,580億円	EBITDA	: 500億円
営業利益	: 300億円	ROE	: 10%以上
		ROIC (※)	: 10%以上

※ ROIC = $\frac{\text{NOPAT (営業利益 - みなし法人税)}}{\text{投下資本【(純資産 + 有利子負債(リース債務含む) + その他の固定負債) の期首・期末残高の平均]}}$

2017年度 単年度計画 (通期)

(億円)

	16年度 実績	17年度 計画	対前年同期増減	
売上高	2,042	※1 2,115	+ 73	3.6%
CLT	1,329	1,368	+ 39	2.9%
IVD	427	449	+ 22	5.1%
HR	286	296	+ 10	3.5%
営業利益	※2 281 13.7% ※3	※2 213 10.1%	- 68	-24.1%
CLT	136 10.3%	97 7.1%	- 39	-28.9%
IVD	115 27.0%	98 21.8%	- 17	-14.9%
HR	31 10.7%	24 8.1%	- 7	-21.6%
経常利益	264 12.9%	202 9.6%	- 62	-23.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3 0.2%	100 4.7%	+ 95	-

※1 全社（みらか中央研究所）の売上を含みます（17年度：+2億円）

※2 全社（みらか単体、みらか中央研究所）の営業利益を含みます（16年度：-2億円、17年度：-8億円）

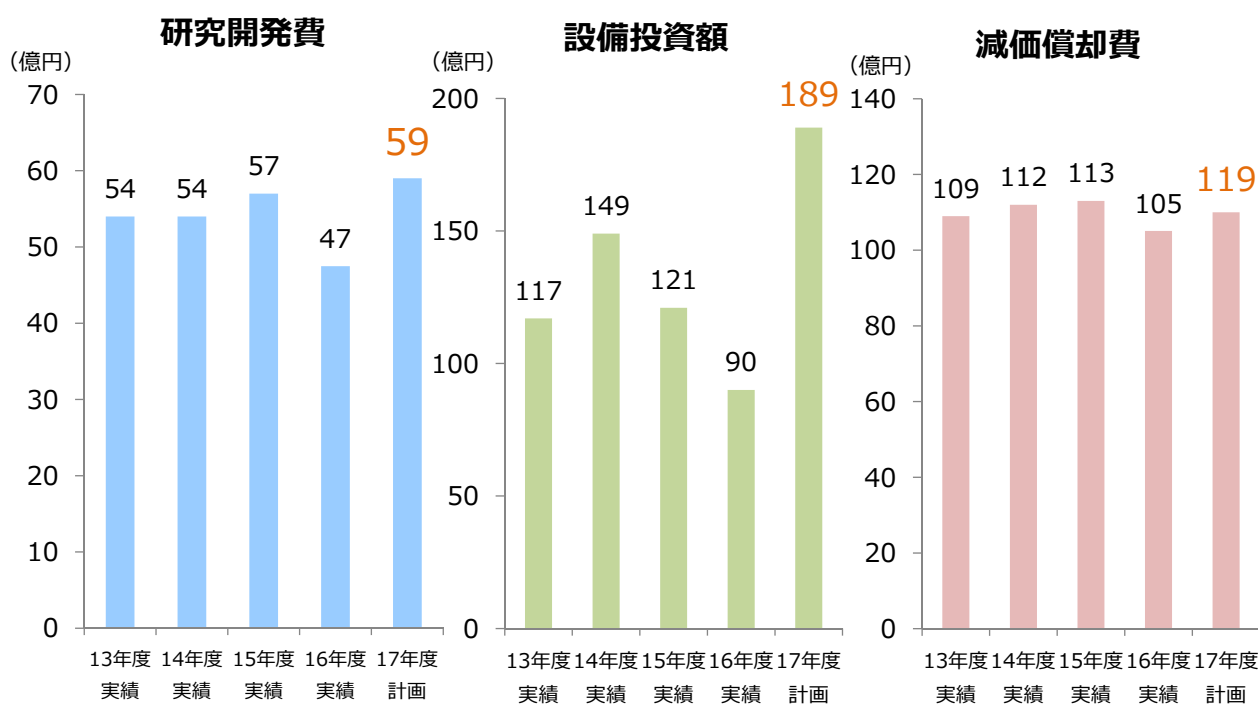
※3 各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率を示しています

(億円)

	上期計画				下期計画				17年度 通期計画
		進捗率	対前年実績			進捗率	対前年実績		
売上高	1,055	50%	+ 28	3%	1,060	50%	+ 44	4%	2,115
営業利益	111	52%	- 36	-25%	102	48%	- 31	-24%	213 10.1%
経常利益	106	52%	- 26	-20%	96	48%	- 35	-27%	202 9.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	67%	+ 118	-	33	33%	- 21	-39%	100 4.7%

36

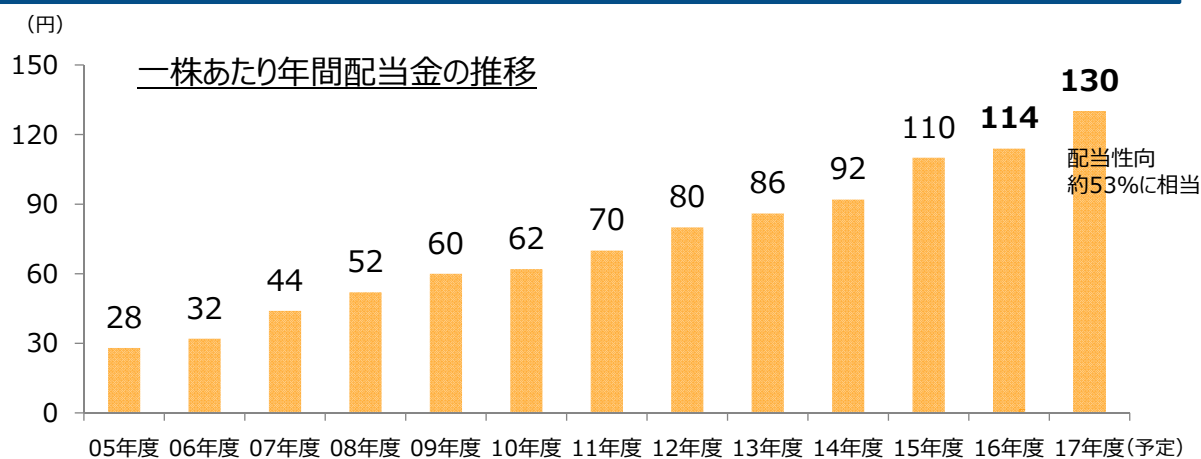
研究開発費・設備投資額の計画



37

基本方針

- ◆ 配当性向：50%以上
 - ※ 特別損益等特殊要因を除いた純利益に対する配当性向
- 当中計では中長期的な成長に向けた投資を最優先とする



【連絡先】

みらかホールディングス株式会社

IR広報部 TEL : 03-5909-3337